

令和8年度看護部目標

1. 良質な看護を提供する

- 1) 各看護単位での専門性を発揮し、チーム医療を推進。
- 2) 倫理的課題の検討を行い解決に取り組む。
- 3) 患者を中心とした医療安全の推進。
 - ①患者情報の確認の徹底。
 - ②危険予知の感性を磨きインシデントレポートにて情報共有する。
 - ③身体拘束の必要性の検討とアクシデントとの関連性との検討を密に行う。
- 4) 多職種と協働し、あらゆる場面で患者・家族への多様性のある意思決定支援を行う。
- 5) ホスピタリティの精神を持って接する。
 - ①病院で出会う全ての人々に自ら挨拶する。
 - ②患者さんの困りごと、表情の変化に気付き声を掛ける。

2. 人材育成の推進を図る

- 1) 看護職員の成長段階に合わせた教育を行う。
 - ①院内ラダー研修及び自己ビジョンに向けた院外研修の推進。
 - ②短期目標設定へ向けた行動計画が、部署目標や看護部目標とリンクし、自己の成長へ繋がっている。
- 2) 人材育成、人財活用を積極的に図る。
 - ①中間管理者の育成。
 - ②病院機能を見据えたスペシャリストの育成及び活用。
 - ③院内認定看護師の育成。
- 3) 看護職員の院外教育活動を推進する。

3. 病院経営へ参画する

1) 全病棟において外来及び診療科と協力し、効率的で効果的な病床管理を行う。

①病床稼働率を意識した観察室共通病床・空床の適正な運用。

2) 診療報酬改定へ対応し、看護関連の加算を確実に取得する。

3) 職場環境内にて節約を行う。

①節約を意識して医療物品・看護物品の管理を行う。

4) QC活動により、各部署の特殊性を活かした業務改善を行う。